



長野県農業大学校「農大祭」視察(11月8日)




九州「百姓隊」視察(11月)

こんにちは 県議会です



県政報告会・ふれあいミーティングが地元佐久長聖中学校で開催されました。風間議長、村上副議長、広報委員6名が出席し会場いっぱいの生徒さんが参加しました。～県議会ってなあに?～議会の役割や仕組みを説明し、また、生徒との意見交換会をもうけ、内容の濃い質問が多数出たり、貴重な意見を聞くことができました。校風と生徒の目の輝きに感心しました。

長野県の「発展」と小諸のさらなる「飛躍」を目指して



清々しい新春を迎え、志を新たに、一年の抱負や夢を、それぞれに描かれたことと思います。さて、昨年を振り返りますと長野県におきましては、大雪に始まり、何度もの大規模な自然災害に見舞われまして、多くの犠牲者と、貴重な財産を失った年でもありました。被災に遭われた皆様には、御冥福と、お見舞いを申し上げます。幸い、小諸はじめ、浅間山麓におきましては、最小限の被害地域であり、こうやって、今日、皆様方のお顔を拝見できることに心から感謝したいと思います。「災い転じて福となす」。今年こそ、災いが一つでも少なく「福が一つでも多い年」にしていきたいものであります。

今年、乙未(きのとひつじ)、六十年に一度の年であり、乙と、安泰を表す未が重なり、未来の発展・成長の年、縁起の良い年回りであります。長野県に置きましては、知事も二期目に入り、「しあわせ信州」を目指して、いろいろな事業に取り組んでおり、今年、北陸新幹線の金沢延伸、善光寺の御開帳など、大きな事業が計画され観光や産業の活性化に、大いに期待をしております。

そして、注目されている街づくり、コンパクトシティを目指す小諸市もいよいよ市庁舎、図書館が姿を現します。今年、小諸にとりましても、チャンスの年でもあり、更なる飛躍の年と捉えています。私も、以前にも増して小諸の魅力を高め、皆さんとしっかりと連携の中で、「伸び行く小諸」、そして「発展し続ける輝く街」の実現を目指し、年頭に当たり、気持ちも新たに強く決意をしたところでございます。

地域の発展に期待し、今年も明るく、健やかに、皆様方の益々の御活躍と御健勝を心から御祈念を申し上げます。挨拶いたします。

※詳細は、県議会ホームページをご覧ください。

11月定例会 一般質問 議会報告 抜粋

自然災害多発。活火山 浅間山麓を含む県下の 火山防災、安全対策を問う

【山岸】浅間山登山者への安全対策、観測体制強化についての取り組みと市町村への支援は?

【危機管理部長】浅間山は24時間常時監視火山のひとつ。県は、火山研究者の育成、観測設備の増設について国に要望を実施。登山者への安全対策として、シェルター設備が促進されるよう、国の補助制度の補助率上乗せを国に要望。それと共に、県による補助率の上乗せを検討している。

※議会ではこの他、「浅間山火山防災対策連絡会議」への県の支援、「登山道での携帯電話の不感地域解消」、「浅間山倶楽部ポータルサイト」の県内活火山への取り入れなどを質問しました。

◎12月17日、県危機管理部長は、2015年度当初予算編成で、常時観測の活火山に、シェルター設置の補助金として新たに5千万円を要求。これにより、県が国と同額負担し、市町村の負担を軽減することになる。

山岳遭難防止対策協会の装備、技術向上について

【山岸】山岳遭難防止対策協会の関係機関との連携や警察署員の山岳救助知識、技術の向上についての考えは?

【県警本部長】警察では、毎年警察本部主催の救助研修会を開催する他、各地域でも警察署が主体となって救助訓練を実施し、遭難協隊員の他、警察官等の技術向上を図っております。また、仮称ですが、「山岳安全対策課」を新たに設置し、総合的な安全対策を強化して、各警察署や関係機関との合同訓練等を開催するなど、警察署員や遭難協隊員の山岳遭難救助の知識や技能の底上げを図りたい。



長野県庁



群馬県庁

婦恋小諸間、村道、市道の 県道昇格の要望書を 長野・群馬両県に提出

12月19日、佐久地域選出の県議会議員出席のもと、農業問題懇談会が開催されました。価格の低迷や、難しい雇用確保、後継者問題など、農業経営環境の厳しさを再確認。今後の活動内容に役立て、これまで以上の情熱を注ぎます。

JA北大井支所前交差点の 抜本的改良についての要望書を提出

東小学校的の通学路でもあるJA北大井支所前交差点は、交通量も多く、危険な箇所として地元の方々をはじめ、児童たちも細心の注意を払って通過しています。11月14日、この交差点の抜本的な改良を、周辺3区区长とともに県に要望しました。

